

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 舎人 経 昭
 幹事 池 森 由 幸
 広報会報委員長 尾 関 武 弘

No. 10

ロータリーの未来は あなたの手に

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

2009～2010年度 RI会長 ジョン・ケニー

今日の例会

第1288回 平成21年10月6日(火)
 職 場 例 会
 例会 12:30～KKRホテル名古屋
 講演 13:30～弁護士会館
 裁判傍聴 14:00～

先週の例会

第1287回 平成21年9月29日(火) 曇
 ガバナー 補佐 訪問

◆それでこそロータリー

◆ビジター紹介

東名古屋分区 村橋泰志 ガバナー補佐
 第2760地区 戸田俊晴 地区副幹事
 東名古屋分区 中村公彦 分区幹事

◆出席報告

会 員 49(44)名 出席 37名
 出席率 84,09%
 前々回 9/8(修正出席率)97,73%

池森幹事報告

- 1) 本日例会終了後、クラブ協議会を開催いたしますので理事役員・各委員会委員長は3階の梅の間にお集まりください。その後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はそのままお残りください。
- 2) 次回例会は場所を変更し、職場例会を12時30分よりKKRホテル名古屋4階の菊の間にて開催いたします。その後弁護士会館に移動して講演・裁判傍聴となっておりますのでお間違いのないようご出席ください。
- 3) ロータリー適用相場が10月より1ドル90円となりますのでお知らせいたします。

舎人会長挨拶

本日はガバナー補佐においでいただき、先ほど懇談会をさせていただきました。

村橋泰志ガバナー補佐、戸田俊晴地区副幹事、中村公彦分区幹事にはご多忙の中よくおいでいただきました。この後、クラブ協議会を開催させていただきますので、よろしくお申し上げます。

曼荼羅

密教のお寺におまいりしますと、大きな絵がかかっている、幾何学的な構図のなかに、大中小の仏像がびっしりと描きこまれているものが目に付きます。こうした掛け軸を曼荼羅とよびます。

胎藏曼荼羅は大悲胎藏生曼荼羅という正式な名称からもうかがえますように、仏の智慧が、大悲、つまり衆生を救うための無条件のはたらき(方便を究竟となす)となって現れるということを徹底的に説いています。

金剛界曼荼羅は仏の智慧のまさに智慧たることあるいは、さまざまな側面をもつ仏の智慧が堅固であること(金剛)、さらに言葉をかえていいますと仏のさとの内部構造(内証といひます)ばかりを、ひたすら説いたものであると考えられます。

真言宗では、両部不二、つまり胎藏と金剛界は根本的には同じことを示しているということになっていますが、両者のギャップは少なくとも、はためにはかなり大きいような印象を受けます。

村橋泰志ガバナー補佐ご挨拶



会員減少と退会問題を考える —ロータリーの目指すべき方向性—

10月19日の大澤ガバナー公式訪問に備えて、東名古屋分区の各クラブをご訪問しています。守山R.Cから始まり10番目で、あと東R.Cを残すだけとなりました。実際に各クラブをお訪ねし、その雰囲気に触れ、また、会長・幹事・委員長さんたちからお話を伺いますと、いろいろと感ずるところがあります。どのクラブも、それぞれ味わいのある個性的な魅力をお持ちになっているのです。

各クラブを訪問して、感銘を受けた点をご報告します。まず、伝統のあるクラブから紹介しますと、北R.Cは、

分区分で最初に設立されたクラブです。90名という会員数を擁し、実に落ち着いた、かつ和やかな大人の雰囲気醸成を醸し出しています。田嶋ガバナーエレクトに対する心のこもったバックアップ態勢や地区委員を多勢輩出されていること、あるいは熱意ある社会奉仕を長年にわたり継続されていることなど、いかにも歴史の厚みのあるクラブです。ロータリークラブの本道を歩んでおられるという印象を受けました。

次に、守山 R.C は、46 周年を迎え、分区分で 3 番目に古いクラブです。長年にわたり、守山区に密着した地域との交流が続けられています。クラブの長所は和気藹々とした楽しいところだと自負しておられましたが、実感として納得できました。

その次に、和合 R.C ですが、分区分内で最も活気のあるクラブだといってもよいでしょう。現在の会員数は 98 名ですが、「チャレンジ 110」と称し、110 名の会員とすることを目指しています。活力の源泉は、親睦を旨とし、コーラス部、ゴルフクラブ等、多様な活動を続けておられる点にあるようです。中堅のクラブには、堅実なまとまりのある魅力があります。

名東 R.C は、私の所属するクラブであります。分区分の中堅として、30 周年行事、地区大会、本年度は IM と 3 年続きの大きな行事にフーフー言いながらも生真面目に取り組んでいます。ゴルフクラブはもちろんのこと、多く見えます。又、政治的にも不安定な時代に入ったようで、政治家も襟を正して国民の為になる政治を行ってほしいと思います。

写真の会、食歩歩きの会、プラチナ会など同好会が活発です。新しいクラブには、風通しのよい明るさがあります。

名北 R.C は、45 名という少人数ですが、結束の良さとアットホームな雰囲気を特長とし、女性会員が 5 名と比較的多く、会員相互の交流が盛んです。

昭和 R.C は、昭和区、千種区を中心とした税務・法務に関するメンバーが多い。平均年齢も 50 歳台後半位で比較的若く、明るく家庭的な雰囲気を持ち、団結力があるという特徴と長所があります。今後のロータリーが目指すべき方向を着実に歩いておられると思いました。

錦 R.C は、33 名と少人数ながら多士済々のメンバーが揃い、また女性会員が 8 名もおり、ソフトな雰囲気と明るさがあり、まとまりのよいクラブでした。小学生の環境教育に取り組むなど、社会奉仕にも熱心でした。

東山 R.C は、分区分では 2 番目に新しいクラブであり、平均年齢が 52.7 才という若々しさに好感が持てました。

葵 R.C は、設立されてまだ 4 年目、東名古屋分区分 11 クラブのうちで一番若く、平均年齢が 43.2 歳と唯一の 40 歳代です。布池教会におけるモーニング例会開催、低い会費、事務局なしで 100% IT 化による業務の合理化など、その若々しく活発な活躍ぶりは大変参考になると思いました。

つまり、一口でいえば、どのクラブも個性のある魅力を持っておられますので、その素晴らしさを、大澤ガバナーだけではなく、各クラブの皆様にも、お伝えしたいと思うようになりました。

他方、ほとんどのクラブが最大の課題として、訴えておられたのは、要するに会員の減少と高齢化の問題です。退会防止と会員増強の必要性が緊急のテーマのようです。

会員の減少問題が共通の一番大きな課題となっていることに驚きました。そこで、少し調べてみましたところ、実に深刻な状況にあることを知りました。

・日本全体

1997 年の 131,731 人をピークとして毎年減少し、2009 年 3 月現在では 94,906 人と、36,825 人も減少しています。減少率は 28% です。

・第三ゾーン

2004 年の 29,443 人が、2008 年には 27,170 人と、2,273 人の減少です。

・第 2760 地区

2004 年の 5,480 人が 2008 年には 5,165 人と、4 年で 315 人の減少です。

・東名古屋分区分

2007 年 7 月の 663 人が 2009 年 7 月には 623 人と、2 年で 40 人の減少です。

以上の数字の示すところは、会員の減少は一過性ではないし、特殊事情によるものではなく、日本のロータリークラブ全体が 1998 年以降、10 年以上にわたり、毎年、継続的に右肩下りの失血状態にあるという事実です。重大な要因がなければ、このような現象は起こりません。

その背景には、1990 年代の失われた 10 年と呼ばれる政治と経済の停滞がきっかけとなり、その後のグローバル化による日本経済の体質の変化と高齢少子化による活力の減退が影響していることでしょう。

そして、そのような変化に連動するかのようにより、ロータリークラブ自体が謂わば制度疲労を起こして、基本的な魅力を失いつつあるように思われます。従いまして、精神論のみで会員増強を声高に訴えても大きな成果は期待できず、根本的な再生の対策が必要だと思えます。

この悩みは、我がロータリークラブのみならず、ライオンズクラブや商工会議所にも通底しているようです。

思考しますに、ロータリーの魅力を支える中心の柱は、ステータスシンボルとしてのブランド価値及び会員間の刺激的な触れ合いへの期待という 2 本の柱であったと考えます。

私どもは、現在でもロータリアンであることを誇りに思い、また、社会からも高い評価を受けていると思えます。

しかしながら、高度成長的思考の終わり、ロータリークラブの大衆化、経済の停滞と将来への不安などの諸事情から、ロータリーのステータスシンボルとしての価値と魅力は次第に薄れつつあるのではないのでしょうか。もはや、偉大なるマンネリズムなどおさまっていることはできなくなりました。

ロータリアンの大部分は、中小企業の経営者やいろいろな職業専門家です。戦後の焼け跡から現在の発展を導いたエネルギー源は、「刻苦勉強すれば必ず社会は繁栄し、個人は豊かになる。」という国民の信念でした。ロータリーへ入会することは、努力によって成功したことの自己確認であり、かつ、その社会的承認を意味したと思えます。努力する者にとって、ロータリアンになることは目標であり、かつ、誇るべきゴールでもありました。

これを成長社会におけるステータスシンボル価値と名付けるならば、今では、その価値観が意義を失いつつあるという危機意識を自覚すべきだと思えます。

大澤ガバナーは、「職業奉仕がロータリーの基盤」であると訴え、形式主義を排するため「ノーネクタイ運動」を提唱されております。また、「事務の合理化と経費の節減・識IT率の向上」を求めておられます。

おそらく、ガバナーは、ロータリーが重大な危機の状態にあると深刻に認識されたのではないのでしょうか。そこで、この危機を打破するために、「ロータリーの原点に帰れ。初心を忘れるな。」と力説し、ロータリークラブ本来のエネルギーを回復しようとしておられるように思われます。謂わば原理主義運動です。

そして、故佐藤千寿さんは、ロータリアンは、外に向かつては、起我の精神に基づく職業奉仕活動がその初心であり、内に向かつては、ロータリーが「心のオアシス」でなければならないと指摘されております。

ポール・ハリスが1905年に暗黒社会であったシカゴでロータリークラブを作ったのは、荒野に「心の友」と「心のオアシス」を求めたからだそうです。

だとすれば、大澤ガバナーも、佐藤さんも、そしてポール・ハリスも、表現こそ違っていても意味するところでは同じであると思います。「心のオアシス」の再建こそロータリークラブの原点であり、職業奉仕こそロータリアンの初心であるということをご思い起こす必要があると考えます。

もっと平たく言えば、「心のオアシス」とは、「1週間に一度は必ず顔を出したくなるクラブ」であり、「1週間に一度は話をしたくなるメンバーが集まっているクラブ」になることだろうと理解しています。

千種R.Cは、多岐にわたる職業人の集まりであり、年齢差にこだわることなく和やかで円滑な運営をしております。

いろいろ意見交換ができることを楽しみにしています。



会長・幹事懇談会

11:30~12:20 桐の間



クラブ協議会

13:40~14:40 梅の間



各委員長より活動内容や計画について報告された。村橋ガバナー補佐より年齢の差については新入会員からは中々溶け込むことは難しいので先輩の方から肩をたたく、そのような努力をしていく事でお互いを解り合えるのでは等、貴重なご意見をいただきました。

◆10月理事役員会議事録

- 1) 年末家族会に東RC会員招待の件。
特別代表(故)創立会長(故)の御家族を年末家族会にお招きする。 → 承認
- 2) 「北朝鮮拉致被害者家族に対する支援金」協力の件。
例会にて募金をする。 → 承認
- 3) 名古屋YMCAチャリティーラン参加の件。
11月14日ライラセミナーと同日となったので今年度、チーム参加は取りやめて、大会運営費スポンサーとして新世代委員会より2万円を寄付する。 → 承認
- 4) 2011~2012年度ガバナー補佐推薦の件。
指名委員会(10/13)2010~2011年度会長エレクト決定後、諮問会を開催して(11/10)補佐の推薦を行い、年次総会(12/1)にて決議。 → 承認
- 5) 次年度地区委員会委員推薦の件。
今年度、補助委員会委員の渡邊源市君は次年度継続となっている。
他の方の推薦については会長、幹事に一任する。 → 承認
- 6) 社会奉仕委員会(RCC)結成の件。
結成後はRCC委員会を設置する。 → 承認
- 7) 24RC社会奉仕委員事業支援提案先決定報告の件。
愛知県樹木医「カシナガ消防団」50万支援決定。

・・・ ちょっと一言 ・・・



9月15日例会ゲストの妻倉和子様

私は、「妻を娶らば才長けて、見目麗しき情けあり。」の妻と、「倉敷」の倉と、「昭和」の和と、「子供」の子と、書いて、『妻倉 和子』と申します。

この「妻を娶らば〜」の作者は、与謝野鉄幹さんですが、今日若い人たちの集会に行って、「妻を娶らば〜」と言っても、わからない人が多いんです。ですから、この頃は若い人たちの前では「妻夫木 聡」の妻です、と言うとわかりがいいんです。

なぜ私が、このようにしつこく自己紹介をするのかと言うと、永六輔さんから、「日本には漢字というものがある。だから自己紹介などで、自分の名前をしっかり覚えてもらうには、立体的に、具体的に言って覚えてもらうのがいい。」と、言われたからなんです。皆さんも、これからの自己紹介、この方法いかがですか。

ニコボックス

東名古屋分区ガバナー補佐 村橋 泰志君
 地区副幹事 戸田 俊晴君
 東名古屋分区幹事 中村 公彦君
 補佐訪問でお世話になります

池森 由幸

先週宮崎で学会がありましたので参加しました 一日早く出かけて霧島の山の中を家内と馬で駆け廻ってきました ロードオブザリングの世界を楽しんできました

水谷 祥督

ホームクラブご無沙汰しました

大口 弘和

ウイーンで音楽を聴いてきました

舍人 経昭

本日はガバナー補佐村橋泰志様 地区副幹事戸田俊晴様 分区幹事中村公彦様のお三方にはお忙しい所当クラブ御訪問頂き懇談会で色々御指導を賜りありがとうございます 例会ではごゆっくりおつろぎ友愛を深めていただきたいと思います クラブ協議会へもご出席よろしくお願ひします

山本 英次

アメリカミュージックツアーに行つて来ました

足立 一郎

浅井 誠寿

萩原喜代子

林 正路

加藤 重雄

小林 明

小林 英毅

小山 雅弘

久野 峯一

黒野 貞夫

牧野登志子

宮尾 紘司

西川 豊長

大谷 恩

佐野 寛

佐々木敏夫

鈴木 理之

鈴木 聖三

竹内 克豊

竹内 眞三

谷口 優

和田 正敏

吉田 節美

村橋ガバナー補佐をお迎えして

伊藤 健文

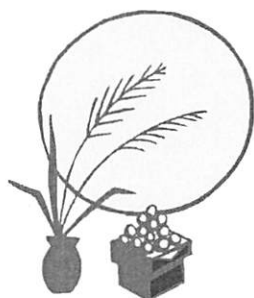
夫人誕生日祝い

笹野 義春

村橋ガバナー補佐をお迎えして

結婚記念日祝い

合計 72,000 円



10月 米山月間

(財) ロータリー米山記念奨学会の目的と事業

米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

米山奨学生奨学期間中にロータリーの例会やロータリーの奉仕活動に参加することによって、日本の文化、宗教、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます。

米山記念奨学会では、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。

年間の奨学金支給額はおよそ12億5千万円、1967年に財団法人として認可されて、これまでに116カ国から15,130名の奨学生を支援してきました。規模と実績ともに民間で最大の留学生奨学団体となっています。

ロータリー囲碁同好会



日時 11月14日(土) 9:30 登録受付
 会場 日本棋院会館(東京・市ヶ谷)
 主催 ロータリー囲碁同好会日本支部
 登録料 7,000円

※参加希望の方は事務局までお知らせ下さい。

次回例会 平成21年10月13日(火)

3F 錦の間

職業奉仕月間

優良従業員表彰